

「公共交通の多面的な評価に向けて」

～クロスセクター効果の算出とその実装に向けた課題～

3 年にもわたる新型コロナ禍を経て、大きく減少した鉄道、バス、タクシーなどの公共交通利用者により、地域の公共交通を取り巻く環境はますます厳しくなっており、地域における安心安全な暮らしの基盤の維持が全国的に危ぶまれています。

そのような中、国レベルで交通分野と他分野との連携・協働による分野横断(クロスセクター)による共創に向けた取り組みとその方向性が検討されています。「クロスセクター」とは、「多様な行政分野」のことを指し、地域公共交通が人々の移動を支えることで、行政コストの軽減に資する効果を定量的に算定するのがクロスセクター効果(Cross Sector Effects:CSE)です。

最近では、全国各地の公共交通計画や路線評価の際に CSE 分析を活用されている事例が見られるようになり、また国土交通省などの資料にも多く紹介されるようになってきました。またこの公共交通が多様な行政分野に提供している効果を定量的に評価する方法の一つである地域公共交通の有する多面的な効果(クロスセクター効果(CSE))に係る算出ガイドライン標準版も 2023 年 10 月に公表されました。

そこで本シンポジウムでは、クロスセクター効果の基本を理解するとともに、公共交通を対象とした実務と研究の両面から、クロスセクター効果を可視化に取り組んだ事例の紹介を通じて、これからの地域公共交通計画における実装に向けた課題について共に考えます。(背景図は国土交通省近畿運輸局より引用)

開催日時・開催方法

2024 年 3 月 6 日(水)14:00~16:40

対面:名古屋都市センター11 階ホール(定員 100 名)

(愛知県名古屋市中区金山町 1 丁目 1-1)

定員超過による連絡がなければ、会場へお越しください

オンライン:オンラインの URL は参加申込時の

メールアドレス宛に後日ご連絡いたします。

参加申し込み方法

以下の URL または QR コードから

お申し込み下さい(参加無料)

(令和 6 年 3 月 1 日(金)締切)

<https://cpij-240306.peatix.com>



プログラム

14:00-14:05 開会挨拶 秀島 栄三 (日本都市計画学会中部支部副支部長/名古屋工業大学 教授)

14:05-14:10 趣旨説明 川本 義海 (公共交通研究小委員会委員長/福井大学 教授)

14:10-15:00 基調講演 「クロスセクター効果 ~公共交通における評価指標の重要性~」

土井 勉 (一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長)

15:00-15:10 休 憩

15:10-16:35 パネルディスカッション 「公共交通の多面的な評価に向けて ~クロスセクター効果の算出とその実装に向けた課題~」

モデレータ 川本 義海 (福井大学 教授)

パネリスト 土井 勉 (一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長)

塩土 圭介 (株式会社日本海コンサルタント 副本部長兼室長)

松尾 幸二郎 (豊橋技術科学大学 准教授)

16:35-16:40 閉会挨拶

本シンポジウムは都市計画 CPD 認定プログラムです(予定)。

<主催> (公社)日本都市計画学会中部支部公共交通研究小委員会

<問合せ> Tel:052-678-2216 Email:tokeigakkai@nup.or.jp(日本都市計画学会中部支部事務局)